

■ 環境衛生

管内の水道普及率は、全国、全道の普及率を上回っています。

一方、令和2年度の管内水洗化率は、91.3%で全道平均（95.9%）を下回っています。

また、令和2年度の管内のゴミの1日の一人当たりの排出量は940gで、リサイクル率は21.7%となっています。

過去3年間の傾向では、ごみの1日一人当たりの排出量は全国的に横ばい傾向であり、リサイクル率は減少傾向にあります。

◆ごみの1日一人当たりの排出量（g）

	H30年度	R1年度	R2年度
全国	918	918	901
全道	969	960	949
空知管内	940	930	940

◆水道普及率（%）

	H30年度	R1年度	R2年度
全国	98.0	98.1	98.1
全道	98.1	98.1	98.2
空知管内	98.9	99.0	98.7

◆リサイクル率（%）

	H30年度	R1年度	R2年度
全国	19.9	19.9	20.0
全道	23.9	23.2	23.4
空知管内	23.6	22.7	21.7

（環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」）

（参考資料）「北海道の水道統計」H30～R2

「令和2年度北海道の水道」

「水道の基本統計」（厚生労働省HP）

■ 住宅

管内の令和2年度の住宅着工戸数は917戸あり、そのうち持家は573戸で借家は344戸となっています。

また、管内の公営住宅管理戸数は、令和4年4月1日現在、道営住宅1,833戸、市町営住宅14,041戸となっています。（市町営住宅は、令和4年1月31日現在）

令和3年度における公営住宅の建設実績は、市町営住宅107戸であり、地域の森林資源を活用した木造公営住宅や、子供からお年寄りまで、全ての人々が安心して暮らせる住まいの実現を目指し、「ユニバーサルデザイン」の考え方を取り入れた公営住宅の整備を進めています。

■ 防災・消防

管内は、石狩川水系の上流部から下流部に位置するため、過去に大雨等による大きな災害に見舞われており、近年では平成23年、平成24年、平成28年と浸水被害が連続して発生しました。

また、平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震では、三笠市・長沼町で震度5強、栗山町・由仁町・南幌町で震度5弱を観測し、重傷1名・軽傷5名、住家半壊3件・一部損壊94件が発生した他、全道域停電「ブラックアウト」により多くの道民生活に影響がでました。

令和3年度の雪による人的被害については、死者8人・重傷34人・軽傷51人となっています。

こうしたことを踏まえ、災害に強い地域社会を作るため、自主防災組織の中核を担う人材育成のための北海道地域防災マスター認定研修会及びフォローアップ研修による防災知識の普及啓発活動に努めています。

雪による被害状況（R3.4.1～R4.3.31）

人的被害		
死者	重傷	軽傷
8名	34名	51名
発生原因内訳		
雪下ろし	落雪	その他
78名	14名	3名

（地域政策課調べ）

■ 交通安全

令和3年における道内の交通事故の死者数は120人となり前年より24人減少しましたが、発生件数と傷者数は増加しました。なお、死者数は過去最少を更新しました。

管内の交通事故の死者数は9人となり前年より1人増加し、発生件数と傷者数ともに増加しました。

交通安全対策の推進に向けて、市町及び交通安全推進組織をはじめ関係機関・団体等、警察署と連携して、交通安全運動を中心に飲酒運転根絶の取組や街頭啓発等の交通安全活動を実施しています。

◆ 全道の交通事故発生状況

◆ 管内の交通事故発生状況

	H29	H30	R元	R2	R3		H29	H30	R元	R2	R3
発生件数	10,815	9,931	9,595	7,898	8,304	発生件数	450	454	391	315	398
死者数	148	141	152	144	120	死者数	10	14	11	8	9
傷者数	12,673	11,494	11,046	9,043	9,598	傷者数	562	556	478	404	477

（北海道環境生活部「交通事故統計分析表」）

■ 道路交通

全国で最も長い直線道路を有する国道12号をはじめ、管内の国道、道道、市町村道の路線実延長は、令和2年4月1日現在で8,216kmとなっており、全道の約9.1%を占めています。

管内の主要事業は、通行不能区間を解消し南空知地域と上川南部地域間の物流・観光・防災等に資する美唄富良野線の道路新設事業を行っており、平成27年3月に幌子トンネル（延長1.8km）が貫通、平成31年2月には東美唄トンネル（延長660m）も貫通し、令和4年度は擁壁工、法面工などを引き続き施工予定で、早期完成に向け工事を推進します。